



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 342
September
2021

トピックス

お知らせ

第4回ADRCオンライン防災セミナー「氷河湖決壊洪水(GLOF)の地域経済への影響と対策」

第5回ADRCオンライン防災セミナー「災害に強い都市を目指した減災戦略の推進」

関係機関との協力推進

第3回セミナー「安全・安心で住みよい社会の構築に向けた、地域のニーズに合致する防災技術」の開催

国際会議への参加

第18回WMO地区気象協会V会合への参加

「第5回世界防災研究所サミット」へのオンライン参加

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
https://www.adrc.asia

© ADRC 2021

●お知らせ

第4回ADRCオンライン防災セミナー「氷河湖決壊洪水(GLOF)の地域経済への影響と対策」

2021年9月14日に開催された第3回目のADRCオンライン防災セミナーに引き続き、第4回セミナー「氷河湖決壊洪水(GLOF)の地域経済への影響と対策」を9月28日(火)16:00-17:30に開催します。第4回目のセミナーは、ヒンドゥークシュヒマラヤ地域において気候変動により氷河湖決壊洪水が多発している問題をテーマとし、国際山岳総合開発センター(ICIMOD)の専門家から氷河湖決壊洪水の発生と地域への影響やリスク削減方策について学びます。

本セミナーの詳細は、<https://adrc.adrc.asia/home/2021Seminar>をご参照ください。ご参加は、Zoomウェビナー (<http://bit.ly/adrcseminar4>) からご登録ください。

皆様とお会いできることを楽しみにしています。

ADRC ONLINE DRR SEMINAR SERIES 2021

Fourth Seminar
GLOF impact to the local economy and measures

Dr. Mandira Singh Shrestha
Programme Coordinator
Climate Services, Mountain Environment
Regional Information System (MENRIS), ICIMOD

Ms. Finu Shrestha
Remote Sensing and Geo-information Analyst
Geospatial Solutions, ICIMOD

28 September 2021 (Tuesday)
16:00-17:30 (Japan Time, UTC+9)

第5回ADRCオンライン防災セミナー「災害に強い都市を目指した減災戦略の推進」

2021年10月18日(月)に開催予定の第5回目のセミナーでは、国連人間居住計画(UN-HABITAT)アジア太平洋地域事務所、及びフィリピン人間居住都市開発局(DHSUD)、タイ防災局(DDPM)から5名の専門家をお迎えし、災害に強い都市を目指した減災戦略の推進に関する新しいツールやアプローチについて議論します。特に、1)都市部における減災戦略推進の現状について(成果、課題、解決策等)、2)都市開発における防災の主流化に関する戦略、3)災害に強い都市を目指した協働に関する新アプローチ、に焦点を当てます。

ご参加については、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.adrc.asia/acdr/drr2021seminar.php>



Fifth Seminar

PROMOTING DISASTER MITIGATION STRATEGIES
FOR URBAN RESILIENCE

18 October 2021, Monday
15:00 - 16:30
Japan Time, GMT+9

●関係機関との協力推進

第3回セミナー「安全・安心で住みよい社会の構築に向けた、地域のニーズに合致する防災技術」の開催

2021年9月14日、ADRCオンライン防災セミナー第3回「安全・安心で住みよい社会の構築に向けた、地域のニーズに合致する防災技術」が開催され、世界から116人の参加のもと、災害前の防災投資や国際規格の取り扱いについて、議論が行われました。

まず、今回のセミナーでモデレーターを務める小野高宏氏（三菱商事インシュアランス局長及びADRC客員研究員）から、防災分野におけるスムーズな伝達や、混乱を回避するための、国際規格の重要性について、冒頭に説明がありました。また、小野氏は、今回のセミナーにおいては、ケーススタディーを含んだ国際規定の知識と経験の共有を目的としていることを説明し、各発表者を紹介しました。

最初のスピーカーとして、サンジャヤ・バティヤ氏が、自身が所属する国連防災機関（UNDRR）事務局及び国際教育訓練研修院（GETI）が推進している、災害に強い都市の構築（MCR: Making Cities Resilient）の継続的開発のための、国際規格の発展について説明を行いました。特に、3つの指針である、持続可能な都市とコミュニティ評価指標ガイドライン規格「IS037120」、スマートシティ指標規格「IS037122」、レジリエントシティ指標規格「IS037123」について説明し、これら規格は世界中のあらゆる街において適応されてゆくと強調しました。

次に、ヌイン・デビッド氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所、及び東北大学災害科学国際研究所災害評価・低減研究部門津波工学研究分野）は、ISO技術委員会の活動について報告を行いました。報告の中で、DRRを促進する「Smart Community Infrastructureを活用した防災に関する国際標準化」について紹介し、この活動は、オーストラリア、チリ、コロンビア、ドイツ、ギリシャ、日本、トルコなどで実践されていて、国際標準化の種類や、災害のタイプ、インフラの種類など、それぞれ焦点を当てられていると説明しました。

次に、株式会社日本政策投資銀行の蛭間芳樹氏からは、災害に強い街をデザインするための、財政に関する専門知識を共有されました。また、災害前の対策である、特に中小企業を対象とした事業継続マネジメント（BCM）の重要性について説明しました。この活動を推進するにあたって、日本政策投資銀行は中小企業を支援する事業継続マネジメント（BCM）の格付け指標を開発しました。この指標は、（1）人命を保護する防災の手法、（2）BCMを強化する政策、ゴール、方針、を検討の材料として構成されています。

次に、スリランカの防災担当機関（Disaster Management Centre）に所属する、プラディープ・クマラ氏は、同国における早期警報システム、最新の関連機器の紹介をしました。スリランカにおいて、早期警報タワーは77基設置され、短波通信などの様々な手法で情報提供が行われ、SMSなどのメッセージも送信されていると説明しました。また、プラディープ氏は、コミュニティ防災（CBDRM）の活動と協力し、簡易雨量計の利用を利用した、近隣住民への地すべりの避難警報を伝えるための取り組み例についても触れました。

最後に、インドネシアの防災担当機関である国家防災庁（BNPB）に所属するウドレク氏から、インドネシア国内に整備されている、地すべり早期警報システムの紹介が行われました。このシステムは、統一された基準に基づいて整備開発され、警報が発出された際に速やかに住民に伝えられるように工夫されています。また、政府は、これらシステムを取り扱うにあたって、システ



第3回ADRCオンライン防災セミナーのスピーカー

続き

ムのメンテナンス、運用コスト、住民との連携、部品の交換、基礎修理などを考慮に入れています。

最後に、ADRC所長の中川氏は、防災における国際規格の推進は、より効果的な防災技術の導入につながることで、また、災害リスクを軽減する新しいファイナンスの形は、需要が高まっている防災投資に朗報であると述べ、セミナーは終了しました。

本セミナーの詳細については、次のWebサイトをご参照ください。

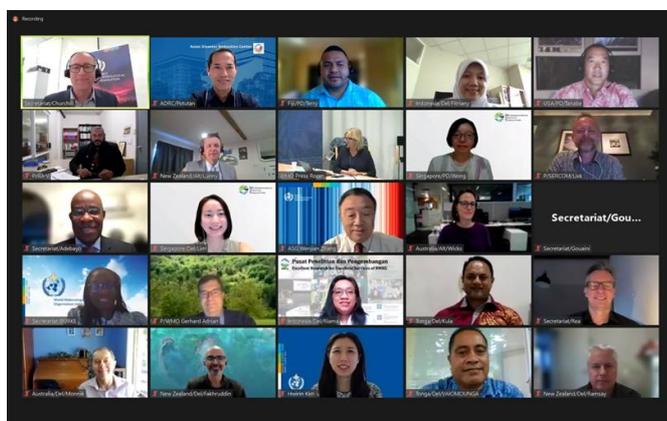
<https://acdr.adrc.asia/home/2021Seminar>

●国際会議への参加

第18回WMO地区気象協会V会合への参加

2021年9月1日から3日にかけて、ADRCは、WMOのConstituent Bodiesのオブザーバーとして、WMO地区気象協会(Regional Association)Vの第18回会合に参加しました。本会議では、WMOの総合的な地域気象協会Vの主要イニシアティブを中心に議論が行われました。

ADRCは、新しいイニシアティブにおける協力関係を模索するために、地区気象協会の活動に関与し、更なる地域協力を推進するパートナーシップを推進していく所存です。

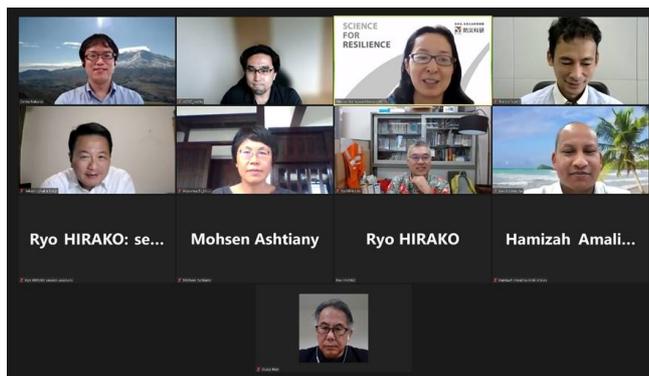


会合一日目の様子

「第5回世界防災研究所サミット」へのオンライン参加

2021年9月1日、ADRCは京都大学の世界防災研究所連合(GADRI)事務局が主催する「第5回GADRIサミット: Engaging Sciences in Action」に参加しました。この会議はオンラインで開催され、世界各国の大学や関係機関が参加し、防災分野における最新の研究や記述発表、実際のプロジェクトの紹介などに関する報告が行われました。

ADRCは、本ワークショップのグループ2のパネルディスカッションに登壇し、センチネルアジアの活動を通じた、防災分野における宇宙技術の利活用と優良事例について紹介しました。説明の中では、防災担当機関と宇宙機関との連携に合わせて、研究機関ネットワークの拡充と、センチネルアジアへの支援について提案を行いました。



グループ2のパネルディスカッション

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。